

## 第1回静岡県防災会議専門部会（南海トラフ地震防災対応）議事概要

---

### 1 第1回専門部会の概要

日時：平成30年3月29日（木） 午前10時から午前12時

場所：県庁別館9階第2特別会議室

出席者：静岡県防災会議専門部会委員

### 2 議事概要

南海トラフ沿いの地震観測・評価に基づく防災対応検討ワーキンググループの検討の背景と報告書のポイント、南海トラフ地震に関する事前対応の検討の進め方、南海トラフ地震に関する新たな防災対応の考え方についての事務局からの説明の後、各委員により議論した。

主な意見は次のとおり

#### 【情報の内容】

- ・「南海トラフ沿いの大規模地震発生の可能性が相対的に高まっている」という表現の解釈が難しく、自治体としても行動を起こすに至れない。統一的に対応を促すような判断基準、住民から見ても危険が迫っていることが分かるような情報が欲しい。

#### 【脆弱性の評価】

- ・地震発生の可能性と脆弱性（地域の地震災害リスクの程度等）に基づく対応の検討は良いと思うが、地震発生の可能性は相当不確実なものと言わざるを得ない。そのため、それぞれの地域にどのような危険性があるのかというような「脆弱性」について、具体的に検討していく必要がある。

#### 【住民のリテラシー】

- ・住民が事前避難を考えるときに、その判断を後押しできるような被害想定情報を住民が持っているかどうか課題になると思われる。
- ・確度の低い情報に基づく防災対応については、事前に情報の内容や防災対応のあり方等をしっかり広報しておくことが重要である。

#### 【学校の対応】

- ・児童・生徒の安全は最優先されるべきものであるが、学校だけではなく地域全体で対応しなければならないものである。地域全体で統一感のある対応を考えていかなければならない。

#### 【報道の影響】

- ・報道が住民行動に大きな影響を与えると考えられる。画一的な報道でいいのか、状況に応じて変えた方がいいのかあらかじめ考えておく必要がある。